

令和5(2023)年度採択機関の企画紹介

宮城教育大学 | 理系未来人材発掘・科学者の卵 ZERO-Step STEAM プログラム

STEAM教育の充実した環境を用意し、将来宮城を担い新しい思考で未来を切り拓き日々アップデートできる柔軟な生徒を育てたい。協力教育委員会等が企画する中学生の探究活動の発表の場で表彰された生徒(選抜生徒)に対して様々な卓越人材育成指導を提供する。対象者は、仙台市児童・生徒理科作品展の場合は審査員賞以上に該当する生徒を基本とする。地域の実態に応じて探究活動にエントリーした生徒や、プログラミングに卓越した生徒の場合は、トライアウト(スカウト)を含めコンソーシアム員の選抜により本プログラム対象者とする。対象者は次世代人材育成フローに従い興味ある中学生を大学や先端施設に招聘し、世界を意識してまだ見ぬ世界の同世代の友人たちと競い切磋琢磨できる理系人材育成に努める。



長野工業高等専門学校 | Next フューチャーエンジニア育成プロジェクト

科学技術に興味をもつ中学生が、科学技術的な思考を働かせ行動する力を身に付けるための支援を行う。中学生が高い興味関心をもつモビリティを研究開発する学びカリキュラムを作成し、工業高等専門学校、中学校、高等学校、大学の教員等が定期的な勉強会を開催する。また、学生メンターが中学生を支援する仕組みを整え、モビリティの製作講習会を行い、創り上げたモビリティで県内及び全国・世界的なモビリティ・コンテストに参加する。この過程で自らの課題設定と解決策へのアプローチを育成する。さらに、地元企業と協力してSDGsを視野に入れた未来の街乗りモビリティ実現に向けて研究開発体験を行うPBL型のスキルアップに取り組む。



大阪公立大学 | 総合知で持続可能な未来社会を創る高度人材育成プログラム

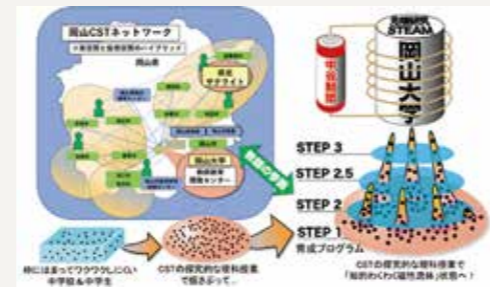
SDGsの達成とSociety5.0の実現を目標にして持続可能な未来社会に科学で貢献するイノベーターの育成が求められている。こうした人材を育むうえであらゆる分野の知見を総合的に活用して地球規模の課題に対応する「総合知」を創出することが重要となる。本企画では、大阪公立大学が推し進める総合知の研究教育をベースにして中学生に対して文系・理系の枠を超えた多様なSTEAMプログラムを提供する。本学の教員と学生が教育委員会・高専・公的研究所と連携して高度で実践的な学びの場を整備し、個別最適で協働的な探求学修を推進する。本企画を通じて持続可能な未来社会を支える高度専門人材・イノベーターを育成する。



岡山大学教師教育開発センター | 「知的わくわく磁性流体モデル」を大学と中学校が協働で実現し、科学のわく組みを動かせる次世代理系人材を育成する!

次世代「科学力」を科学の枠組みも動かせる力と定義し、創造的な次世代理系人材を育成するための「知的わくわく磁性流体モデル」を、次の3つのシステムで構築する。

- ①日常的な理科の授業で生徒の探究場面に教師が伴走し、生徒が真の探究活動を実現するシステム。それを大学と中学校が協働して開発する。
- ②探究をさらに進めたい生徒のニーズに伴走するために①で育てた生徒が、課外活動の時間を利用して大学を探究の場として活用できるシステム。
- ③変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任を持って行動する能力(エージェンシー)を生徒に発揮させるために、大学・研究施設を活用した学びや研究を自らデザインするシステム。



●お問い合わせ

公益財団法人
中谷医工計測技術振興財団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
国際健康開発センタービル(IHDビル)5階
本部 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号
アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8階
URL : <https://www.nakatani-foundation.jp>

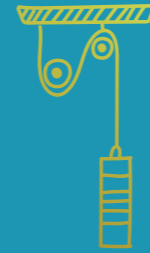
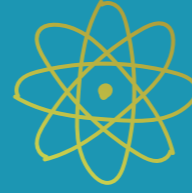


小学校、中学校、高等学校を対象とした
科学教育振興助成も募集しています。

詳しくは
HPを
ご覧下さい。

科学教育振興助成

対象
大学・高専



見出せ。 次世代 「科学力」

科学が好きなき子が
減ったんじゃないかと
科学が身近にない子が
増えたんじゃないかな?

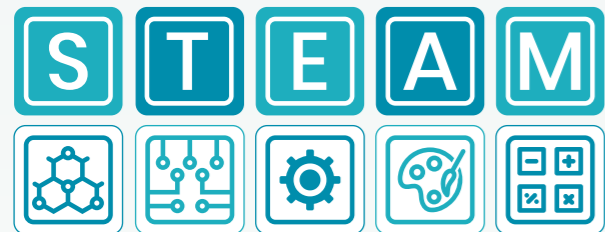


次世代理系人材育成
プログラム助成

令和6(2024)年度助成の 令和5(2023)年
募集期間 10.1^日 - 11.20^日

科学への関心と意欲ある 中学生に向けて

地域の期待と、成長への
想いを込めたプログラムです。



地域の熱意ある取り組みが、
日本の科学の未来を変える。

大学や高専が科学技術分野に関心の高い中学生や理数系に優れた資質を持つ中学生を発掘し、他教育研究機関や科学系博物館等と連携して、企画した研究指導や実験などを実施する体系的な教育プログラムに対し助成します。

「令和の日本型学校教育」ではすべての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」の実現が期待されています。

子どもたち一人ひとりの個性や特徴、多様な興味、関心を汲み取って更に伸ばし、教科横断的な問題解決能力を身につけさせ、将来、科学技術分野で活躍する人材を育てるプログラムを期待します。



理数系に優れた資質を持ち
科学技術への関心が高く
意欲のある
地域の中学生

参加

募集・選抜

協力

例えば、こんな企画プログラム

1

地域の理数系に優れた能力を有する中学生、理科への興味関心が高く学ぶ意欲のある中学生を募集・選抜

2

週末や夏季・冬季休暇中に、大学が企画した研究の基礎を学ぶ講義や最先端研究者の講演、実験、施設見学、サイエンスを学ぶ上でのリベラルアーツなど、年間を通じた体系的なカリキュラムを実施

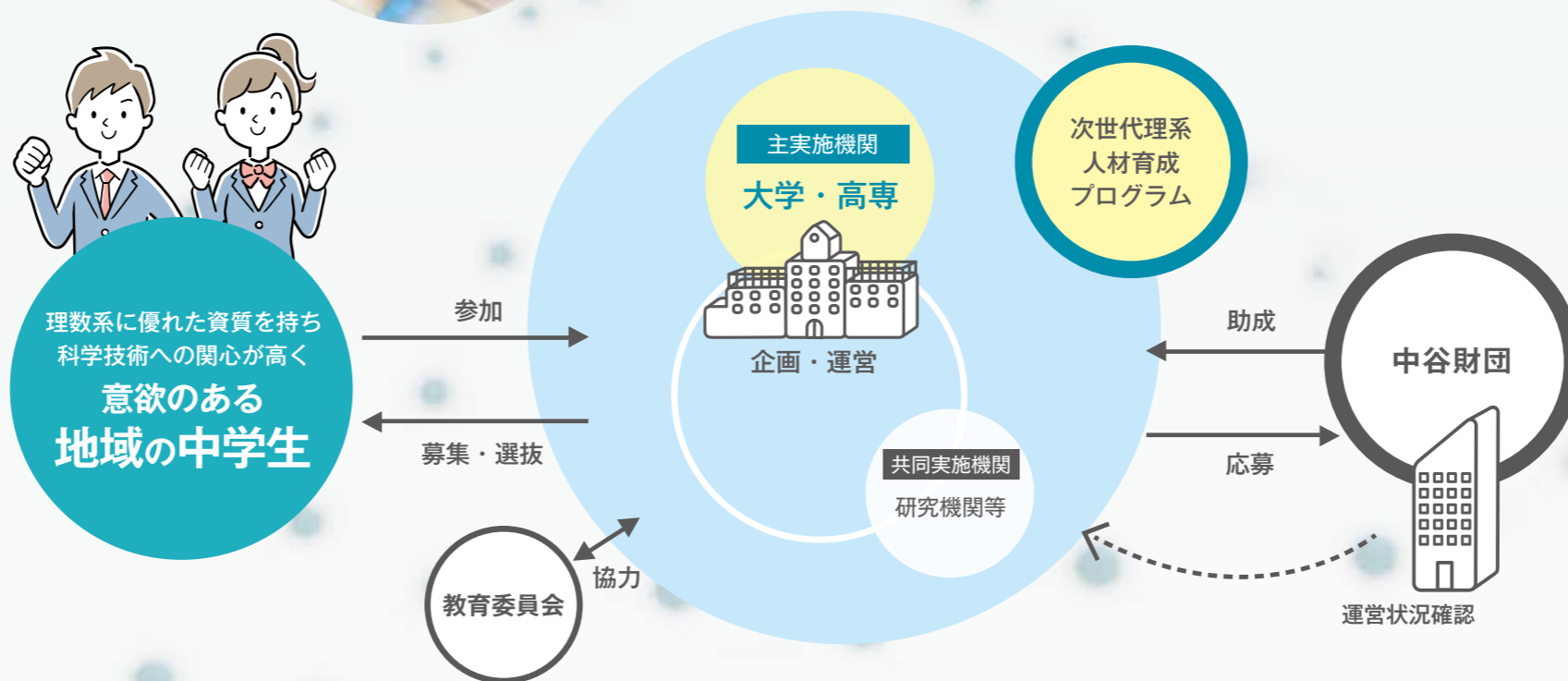
3

科学の体験講座やイベントなどの機会が少ない地域の理科教育活性化につながるプログラムを実施(地域によってはオンラインも併用)

4

研究したい中学生を選抜し、学内外のメンターとマッチングさせ、それぞれの掘り下げたい研究のテーマの設定から、科学的なアプローチの仕方、結果のまとめ方、発表のしかたまでを指導する。
科学系コンテストへの出場をサポートする。

将来
科学技術分野で
活躍する
次世代系
人材へと成長



中谷医工計測技術振興財団とは

中谷財団は、シスメックス株式会社の創業者・中谷太郎が昭和59年に「中谷電子計測技術振興財団」として設立しました。その意思を継いだ子息の中谷正の遺贈を受け、平成24年に大きな事業が行える財団へと生まれ変わりました。同年には、公益財団法人に移行し現在の財団名となりました。

当財団は、医工計測技術の広範な発展を推進し、社会および国民生活の質の向上に寄与することを目指しています。医工計測技術分野における先導的技術開発の助成を中核として技術開発に顕著な業績をあげた研究者への表彰や技術交流への助成等の事業を行っています。

また、若手人材育成のため、科学教育振興をはじめ大学生の留学サポートや大学院生向け奨学金等の助成事業も行っていきます。

次世代系人材育成プログラム助成 募集概要

- 助成対象** 大学・高専等が地域拠点となり理数系に興味のある中学生の能力を更に質的に伸長させる取組
- 応募資格** 全国の国公立大学・高等専門学校 (主実施機関)
- 助成金額** 年間500万円を上限に最大5年間支援 (最大年4件程度)
- 対象受講生** 中学1~3年生
- 募集期間** 令和5(2023)年10月1日~11月20日
- 決定時期** 令和6(2024)年2月末
- 助成期間** 令和6(2024)年4月から令和11(2029)年3月までの5年間



受講生の募集

受講希望者を学校の枠を超えて地域から広く公募し、受講生の意欲・能力を客観的に評価し選抜してください。
教育委員会の協力を得るなどして、募集が広く周知され、多くの生徒に機会が与えられるようにしてください。

審査方法

審査委員会において審査選考し、理事会にて最終決定いたします。一時審査として書類選考を行い、二次審査は一次審査を通過された機関に対し審査委員による面接審査を行います。(令和6(2024)年1月24日(水)を予定)
面接審査の結果は主実施機関の実施担当者宛にご連絡します。

応募方法

当財団ホームページにて、募集要項を確認の上、ウェブシステムよりご応募ください。 ※募集期間前の入力できません。
ご応募の前には、必ずHPのQ&Aをご覧ください。

